

ソフトバレーボールのルール（概要）

【競 技】

- (1) 1セット15点のラリーポイント制の3セット・マッチとする。(2セット先取したチームを勝者とする)。
- (2) 両チームの得点が14対14となった場合は2点差がつくまで行う。
ただし17点先取で打ち切り17点を先取したチームを勝者とする。
- (3) サービス権は、1セット目はジャンケンで勝ったチームが、2セット目は1セット目のジャンケンで負けたチームが得る。
- (4) セットカウント1対1の後の第3セットは、ジャンケンをして改めてサービス権かコートを選んで開始する。またこの第3セットは、どちらかのチームが8点を取ったときコートをチェンジする。

【キャプテン】

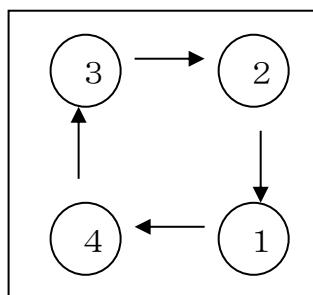
- (1) 試合中、キャプテンはプレイヤーとして必ずコートに入っていなければならない。交代してベンチに退く場合には、代理のキャプテンを指名する。
- (2) キャプテンは主審に質問、プレイヤーの交代、タイムアウトの要求をすることができる。

【試合開始前の練習】

- (1) 試合開始前の練習は、合同で3分とする。
- (2) セット間は2分間とする。

【プレイヤーの位置の移動】

- (1) サービスが打たれる瞬間は、各チームはサーバーを除いて2人ずつ2列に並んで各自はコート内に位置しなければならない。
- (2) サービス権を得たチームは、図のように時計の針と同じ方向へ1つずつ移動する。



【プレイヤーの交代とタイムアウト】

- (1) キャプテンが要求すれば、1セット4回の選手交代ができる。
- (2) キャプテンが要求すれば、2回のタイムアウトができる。
- (3) 1回のタイムアウトは30秒で、2回続けてとることもできる。
タイムアウトの間、プレイヤーはベンチ前で休息しなければならない。
※その要求は「プレイ中でないとき」で「サービス許可の吹笛前」とする。
- (4) 男女混合チームの場合、男性プレイヤーはコート上に3名以上いてはならない。選手登録は3名以上でも可。

【プレイ方法】

(1) サービス

サービスは1回とする。(ボールに触れなければ1回のみやり直せる)

(2) ボールへの接触

★①男性プレイヤーはアタックしてはならない。

②ネット上で両チームのプレイヤーが同時に触れた場合はタッチ回数に数えず、その後、3回プレイできる。

(3) ブロック

ブロックはどのプレイヤーが行ってもよい。

【反 則】

(1) ボールへの接触回数がブロックを除いて3回を超えた時。

(オーバータイムス) (ワンタッチはノーカウント)

(2) 明らかに同一競技者が2度続けてボールに触れた時。(ドリブル)

ただし、相手からの第1球に限り、故意でなければドリブルは取らない。

(3) ネットを越えて相手側のコートにあるボールに触れてはならない。

(オーバーネット)

(4) インプレイ中にネットに触れた時。(タッチネット)

ただし、プレイに直接関係のない選手が偶然に触れた場合は除く。

(5) 相手のサービスボールをブロックしてはならない。

(6) インプレイ中にセンターラインを踏み越した場合。(パッシング・ザ・センターライン)

ただし、踏むのはアウトではない。

(7) サービスをブロックや直接攻撃してはならない。ただし、偶然は除く。

